

主催：東京トランスマーチ2026実行委員会 / 後援：新宿区

東京トランスマーチ 2026　イベント参加の皆様へのお願い

本日はご参加いただきありがとうございます。
皆様に安心して楽しくご参加いただくため、下記事項へのご理解とご協力をお願いいたします。

01　イベント全体でのお願い

■会場内には、様々なジェンダーやセクシュアリティのみなさまが参加していらっしゃいます。見た目などで一方的に相手のジェンダーを決めつけたうえで「彼女･彼」「お姉さん･お兄さん」などと呼びかけることは､相手に不快感をあたえますし､意図的に繰り返せば差別となる行為です。これを「ミスジェンダリング」と呼んでいます。このようなことのないよう、どうかご注意ください。みなさまがお互いによい一日を終えることのできるよう、さまざまなハラスメントに注意し、一般参加者、スタッフを問わず、相手への敬意を忘れずにコミュニケーションを取ることをお願いいたします。
■イベントの趣旨に著しくそぐわない行為があった場合、他の参加者に迷惑をかける悪質な行為を繰り返した場合など、スタッフが必要であると判断した際には、イベントの途中であっても、当該参加者の退場を命じる場合がございます。
■小さなお子様を連れてのご参加の方は、会場内であっても目を離さないようお願いします。
■貴重品の管理は各自でお願いいたします。盗難等の損害に関しましては、主催者側では責任を負いかねます。
■差別行為について、マーチを含む当イベントにおいては、あらゆる差別行為を禁止します。また、差別行為を見かけた場合は、直接抗議などせずに、周囲にいるスタッフにお知らせください。

02　会場内について

■喫煙は電子タバコを含め、指定された場所（公園内入口付近に一か所ございます）でのみお願いします。また、吸い殻は必ず吸い殻入れに捨てるようにお願いします。
■新宿中央公園内にはトイレが設置されています。
男性用と女性用とに分かれており、多目的トイレが1室設けられています。
■怪我の発生、体調不良の場合はスタッフもしくは救護スタッフにお声掛けください。
救護スタッフは「救護」の腕章を付けています。

03　マーチについて

■マーチ中は、参加者みなさまが安全に歩くために、飲酒･喫煙をお控えください。見かけた際はスタッフから声をかけさせていただきます。
■マーチに参加する方は、事前に受付にてリストバンドの配布を受けて下さい。マーチ中に体調不良などお困りごとのある際は、スタッフにお申し出ください。

04　撮影について

■写真や動画を「撮る場合」「撮られる場合」について、下記にご注意ください。
（1）会場（新宿中央公園内）
＊会場内で撮影する場合は「撮られる人」の了解を必ず得てください。
また、撮影物を SNS 等で発信する場合も「撮られる人」の了解を必ず得てください。
その際、他の人の映り込みには十分注意してください。
（2）ステージ
＊ステージでの開会式、閉会式のもようを撮影し、SNS 等で発信するのは問題ありません。（公式記録カメラマンが撮影する場合あり）ご協力をお願いします。
（3）マーチ
＊マーチ行進中は、メディアや沿道から撮影されることが前提になります。
＊撮影されたくない方は、各自で対策をよろしくお願いします。

■公式カメラマン
＊主催団体の公式カメラマンが、会場やパレードを撮影します（「公式記録」の腕章を付けています）。公式カメラマンだけが撮影する場合・状況もありますので、ご了解ください。
＊公式カメラマンによる撮影物は、今後実行委員会の紙媒体、Web サイト、SNS 等で使用させていただきます。あらかじめご了解ください。

Message

東京トランスマーチ 2026 実行委員会 代表あいさつ

「ありのまま生きたい」



東京トランスマーチ 2026
共同代表　浅沼智也

僕は、ずっとそう思って生きてきました。
自分のことを説明しなければならなかったり、わかってもらうために何度も言葉にしなければならなかったり。
「どうして、ただ自分らしく生きたいだけなのに、こんなに難しいんだろう」
そう思ったことがあります。
東京トランスマーチに関わってきた中でも、楽しいことばかりではありませんでした。
嬉しいこともたくさんあったけれど、悔しいことも、傷ついたこともありました。
「もうやめようかな」と思ったこともあります。
それでも、僕はここにいます。この場所で出会った人たちから、
「一人じゃないと思えました」「来てよかったです」
そんな言葉をもらうたびに、この場所を続けていきたいと思ってきました。
東京トランスマーチは、いろいろな人が、それぞれの思いを抱えながら、一緒に歩ける場所であってほしいと思っています。

今年のテーマは、「Beautiful world」

僕にとっての「Beautiful world」は、すべての人が同じ考え方をする世界ではありません。
違っていてもいい。迷っていてもいい。
自分のペースで生きていてもいい。
そんなふうに、一人ひとりが自分の人生を歩いていける世界です。僕自身も、まだ道の途中です。
これからも、迷ったり立ち止まったりしながら、一歩ずつ歩いていきたいと思います。

2026年11月15日。
新宿で、たくさんの人と一緒に歩けることを楽しみにしています。
Beautiful world を、一緒につくっていきましょう。

Schedule

東京トランスマーチ 2026 スケジュール

開催日　2026 年 11 月 15 日（日）

《フェス会場》11 時～ 17 時
《マーチ》
13 時　　集合・角筈橋へ移動開始
13 時 30 分　角筈橋からマーチスタート！
15 時　　Goal ！！

《ステージ》
11 時　　オープニング～第 1 部開始
12 時 55 分　第 1 部終了
15 時　　第 2 部開始
16 時 30 分　第 2 部終了～クロージング

多様なジェンダーのあり方

― トランスジェンダーというアンブレラターム ―

「トランスジェンダー」と聞くと、トランス女性やトランス男性など、生まれたときに割り当てられた性別とは異なる性別で生きる人を思い浮かべる人が多いかもしれません。
しかし、トランスジェンダーという言葉は、ひとつの決まった生き方を表すだけの言葉ではありません。歴史的にはアンブレラターム（傘となる言葉）として、ノンバイナリー、ジェンダークィア、クロスドレッサーなど、さまざまなジェンダーのあり方を含めて使われてきました。時代や地域によっては、ドラァグクイーンなどもその傘の下で語られてきました。

そもそも、シスジェンダーも含め、一人ひとりのアイデンティティや生き方は異なります。隣にいる人は自分とはまったく別の人です。それと同じように、ジェンダーのあり方も、本来は赤と青のようにきれいに色分けできるものではありません。

一方で、私たちの社会の多くは「男／女」という二つのカテゴリーを基本として作られています。法律も、医療も、学校も、さまざまな制度も、その二つの枠を前提としてきました。そしてトランスジェンダーの人たちもまた、「どちらなのか」という分かりやすい形に当てはめられてきました。
その結果、法律や医療、社会が想定する「分かりやすいトランスジェンダー像」から外れる人たちは、ときに見えない存在にされてしまいます。

けれど、社会がどのように分類しようとも、多様なジェンダーを生きる人たちは昔から存在し、いまも私たちと同じ社会で暮らしています。
私たちが望んでいるのは、誰かが「正しいトランスジェンダー」であるかを選別する社会ではありません。一人ひとりの違いを排除せず、そのまま共に生きることのできる社会です。

ボールルーム文化と Chosen Family

カテゴリーからこぼれ落ちた人たちは、ただ孤立していたわけではありません。ときには自分たち自身で、新しい家族やコミュニティ、そして文化を作ってきました。

Ballroom House「Kiki House of Glorieta」



Photo: Fiordi Glorieta / Wikimedia Commons / CC BY-SA 4.0

・Crystal LaBeija
現在の言葉でいえば、黒人のトランス女性として生き、ドラァグクイーンとして活躍した Crystal LaBeija。1960 年代からマンハッタンのドラァグシーンで活躍しました。1967 年の「Miss All-America Camp Beauty Contest」では、白人中心の審査に怒りを表明。その後、友人の Lottie とともに House of LaBeija を立ち上げ、黒人やラテン系の人々が輝ける新しいボールルーム文化の形成に大きな役割を果たしました。

・ドラァグボール
19 世紀末から 20 世紀初頭のニューヨークでは、すでに仮装舞踏会や異性装のコンテストであるドラァグボールが開催されていました。その後、House of LaBeija などを中心に発展した黒人・ラテン系のボールでは、服装、仕草、ダンスなど、さまざまなカテゴリーが生まれていきます。マドンナの楽曲でも広く知られるようになったヴォーギングも、こうしたボールルーム文化から生まれました。

・House ／ Chosen Family
マザーやファザーを中心に作られる、ボールルーム文化のコミュニティです。ドラァグクイーン、トランス女性、ゲイ男性など、さまざまな人々が参加してきました。家族から拒絶されたり、居場所を失った若者たちにとって、House は生活や表現を支える、もうひとつの家族になることもありました。血縁ではなく、自ら選び、支え合う家族。それが「Chosen Family」です。

COLUMN

Beautiful World !!

あなたの“美しい世界”が、誰かを置き去りにしないために

ニューウェイブバンド DEVO の楽曲に「Beautiful World」という曲があります。
その中に、こんなフレーズがあります。

「It's a beautiful world for you. It's not for me.」

技術は発展し、目の前には「素晴らしい世界」が広がっている。
でも、それはあなたにとっての美しい世界であって、私にとってはそうではない――。そんな問いを投げかけるような曲です。
パレスチナ、ウクライナ、イランなど、世界では戦争や武力衝突が続いています。トランスジェンダーだけでなく、外国人、宗教、人種などを理由とした差別もなくならず、貧富の格差も広がっています。



私たちが望む BeautifulWorld の到来を訴えます！

私たちが望む「Beautiful World」とは、差別がない、戦争がない、貧困がない。そして、人々がそれらに怯えることなく、堂々と生きていける社会です。
差別は、一つの側面だけを見ても解決しません。
たとえば、トランスジェンダーへの差別だけをなくそうとしても、性差別そのものが残ったままであれば、結局はその差別構造の中に再び組み込まれてしまいます。
戦争や紛争が起きている地域では、マイノリティはさらに困難な状況に置かれます。誰もが生きていくだけで精いっぱいになる社会では、少数者や弱い立場に置かれた人々は、より排除されやすくなります。そのような環境は、トランスジェンダーにとっても非常に生きづらいものになります。

貧困の問題も重要です。
性別移行には、医療をはじめとするさまざまな経済的負担があります。さらに、性別移行の過程やその後に就労が難しくなるなど、差別が貧困につながり、貧困がさらに生きづらさを深めるという問題もあります。
そして、トランスジェンダーやジェンダー・ノンコンフォーミングの人々も、単純に一つの枠で切り分けられる存在ではありません。
そこにはさまざまな人がいて、一人ひとりがユニークです。いくつもの要素が混ざり合った、いわば「マーブル状」のアイデンティティを持つ人々が、世界中で生きています。
ジェンダーのあり方だけではありません。人種、宗教、国籍、育った地域、思想や信条など、人はさまざまなものを抱えながら生きています。

私たちが求める美しい世界とは、それぞれが自分だけの「美しい世界」を求め、誰かをそこから排除する社会ではありません。
どのようなジェンダーであっても、どのような人種、宗教、国籍、背景を持っていても、それを理由に生きることが困難にならない社会であるべきだと、私たちは考えます。
半世紀以上前、マーティン・ルーサー・キング・ジュニアは、差別のない未来への夢を語りました。
私たちもまた、一部の人だけではなく、すべての人がそれぞれの人生を輝かせながら生きていける社会こそ、私たちの「Beautiful World」なのだと宣言したいのです。
もちろん、明日になれば突然、そんな世界が訪れるわけではありません。
だからこそ私たちは、理想の未来として「Beautiful World」を掲げ、声を上げる必要があります。
社会は簡単には変わりません。
けれど、黙ったままでは、その方向を変えていくこともできません。

私たちが掲げる「Beautiful World」が、いつの日か現実のものになるように。その未来に向かって、私たちと一緒に声を上げてほしいと願っています。

鼎談 2026

さらしな叶夏×新垣凛×畑野とまと

世代を超えてともに歩む トランス女性たちが語る歴史、生、そして未来

今年で6回目を迎える「東京トランスマーチ」。開催に先立ち、「世代を超えて私たちは生きていく」をテーマに、生きた時代や背景の異なるトランス女性3人による特別座談会を実施しました。1960年代生まれの畑野とまとさん、1990年代生まれの新垣凛さん、2000年代生まれのさらしな叶夏さんが、それぞれの歩みや直面した苦難、次世代へ託す希望を語り合います。世代を超えて響き合う言葉から、誰もが生きやすい社会への道標を描き出します。（8月29日、都内で実施／司会：東京トランスマーチ実行委員会共同代表・浅沼智也）

情報も居場所もなかった

――まずは、現在の活動や仕事を含め、自己紹介からお願いします。

畑野とまと●東京トランスマーチ実行委員会共同代表の畑野とまとです。現在はライターをしながら、一般社団法人TransgenderJapan代表としても活動しています。

新垣凛●沖縄県在住の新垣凛です。私は看護師なのですが、就職の面接時、「前例がないから」「更衣室やトイレの対応ができない」などと言われ、何度も落とされました。そうした経験を踏まえ、現在は保健室看護師として働き、トランスジェンダー看護師が直面する困難などについて研究しています。

とまと●仕事と研究の両立という点では、私と同じね。といっても、私が性別移行した20代後半の頃とは、事情がかなり違うけど。当時は情報が何もなかったから、私はセックスワーカーとして働きながら、1996年に日本初のトランスジェンダー専門サイトを立ち上げ、海外のLGBTQ情報を集め、分析・発信していました。でもその後、当事者が「精神疾患」として病理化され、テレビで活躍していたニューハーフの人たちが排除される状況に耐えきれず、一度活動を休止したの。

凛●再開のきっかけは何だったのですか？

とまと●知り合ったトランスの女の子が、上京してバイトを始めようとしたら「あなたみたいな人は夜の世界へ行けば」と雇ってもらえず、ホームレスになったという話を聞いたの。それで「〝性同一性障害〟として社会的に認知されたのに、全然幸せになってない」と危機感を覚え、再び声を上げようと決意したのね。そういえば、さらしなさんも地方から上京してきたのよね。

さらしな叶夏●はい。愛媛出身の23歳、さらしな叶夏です。3月に大学を卒業し、春からコンサルティング会社で働き始めました。学生時代は「トランス女子アイドル研究生」としてYouTubeなどで発信をしていました。一度、アイドルの夢は諦めかけましたが、もう一度頑張ろうと活動を続けています。

――では、子どもの頃の記憶から聞かせてください。

凛●物心ついた時から性別に違和感がありましたが、周りに同じ悩みを抱える人もいなくて、「自分はおかしい存在なんだ」と思っていました。当時、バラエティ番組に出ていたニューハーフの人たちを見ても、「あんなふうに笑いをとって生きたいわけじゃない」と戸惑うばかりで…。テレビでは「オネエ」「オカマ」といった言葉が飛び交っていて、女の子っぽかった私はよく「オカマ」と呼ばれていました。

さらしな●私も、小・中学生の頃、「オカマ」とからかわれました。

凛●今でもその言葉を聞くと、体がビクッと反応するくらい嫌な記憶です。

とまと●私の子ども時代は、ゲイ雑誌すらほとんどなくて、トランスジェンダー的なものといえば、唯一テレビで見るカルーセル麻紀さんくらい。すごく綺麗でしょ。だから「限られた特別な人しか性別移行なんてできない」と思い込んでいたので、完全に諦めて、自分の気持ちを表に出さず隠していました。

家族をめぐる葛藤と和解

――学校時代にはどんなことがありましたか？

とまと●隠していたからいじめはなかったけれど、つらかったのは中学での丸刈り強制。当時は、全国の多くの中学校で男子の坊主頭が義務だったのよ。

さらしな●えーっ、信じられない！

とまと●本当に嫌で嫌で。親に「中学へ行きたくない」と訴えたけれど当然無理。だから中学で坊主デビューして笑われる前に、先に慣れさせてやろうと、小学5年生の時、自分から坊主にしちゃったの。学ランを着るのも苦痛で、わざと汚らしい格好をしていたくらい。

凛●それに比べると、私は恵まれた環境にあったと思います。高校では、おしゃれを楽しむ仲の良い女子グループがいて、「私も化粧したい」と言ったら道具を貸してくれたりして。

さらしな●優しいですね。

凛●うん。それで髪を伸ばしてメイクも始めたんです。看護学校へ入った時はすでに女性の格好をしていましたが、周りは「凛は凛だよね」と受け入れてくれました。

さらしな●私も、中学の最初くらいまではいじめられたけど、高校ではLGBTQという言葉も浸透していて、カミングアウトしやすかったですね。男友だちに相談したこともあります。

――ご家族には話していたのですか？

さらしな●親には小さい頃「女の子になりたい」と訴えましたが、「男として生きなさい」と強く言われたので、小学生くらいからは言い出せない雰囲気でしたね。

凛●ウチは沖縄の伝統的な長男文化が強い家庭で、上に姉、下に妹がいて、私が唯一の息子でしたから「男であることに違和感がある」なんて絶対言えませんでした。

さらしな●私も田舎育ちなので、よく分かります。

凛●小学4年生の時には、突然父にサッカー用品一式を買い与えられ、「今日からやれ」とグラウンドへ連れて行かれました。

さらしな●私も髪を短くされ、メンズの服を強制されていましたね。

凛●昔からスポーツマンだった父は、息子にも同じようになってほしかったんでしょう。その期待に応えたくて1年間サッカーを頑張ったけれど限界で、母に泣きつきました。

とまと●お父さんには言った？

凛●母から促されて仕方なく。父は否定しませんでしたが、肯定もせず…。高校生になると父との溝は深まるばかりで、3年間で喋ったのは10回もないくらい。母が不在のとき、父が用意した夕食に私の分だけないこともありました。

さらしな●それはひどい。

凛●私の存在を消したかったんでしょうね。だから私も「同居するおじさん」と思って頼ることはありませんでした。

――ご家族との関係が変化するきっかけはあったのですか？

凛●大学の看護学科に合格した際、父が母に「さすが俺の子だ」と言っていたと聞いて素直に嬉しかったですね。23歳で性適合手術をすると決めた時は、母に「考えた方がいい」と言われたけれど、「ここで手術しなければ生きていけない」と説得しました。父は当然反対だったと思うけれど、術後、私の覚悟を汲んでくれたのか私を「娘」と呼び、周りにも「俺の子は三姉妹だ」と言うようになりました。今では実家へ行くと率先して話しかけてくれます。

さらしな●私は東京へ来てからメイクや服を研究して、大学2年生の時、可愛くなった姿で帰省したんです。両親は、それを見て女性として生きるのを認めてくれた感じです。最近は母が服選びやメイクを教えてくれたりと、良い関係を築けています。

とまと●私の親は戦前生まれだから、最初から理解を求めようなんて思わなかった。母は30年前に私の体が変化したのを知っているから理解しているけれど、父には直接カミングアウトしてないの。両親ともに介護が必要になった今、週1回実家へ手伝いに行っているけれど、父はたまに私を「息子」と呼ぶのね。今さら反論しても何か変わるわけでもないし、親は自分とは違う人生を生きているのだから仕方ないと割り切ってます。それでも去年、私の活動を取材した新聞記事を母に見せたら「犯罪者にならず、こういうふうになるのはいいわね」と喜んでくれました。多くの人が理想とする「良い親子関係」とは違うかもしれないけれど、良好な距離感を保てているように思います。

性適合手術なしでの性別変更

――先ほど手術の話が出ましたが、医療アクセスに関する苦労などを教えてください。

とまと●私が性別移行を始めた90年代初頭は、ジェンダークリニックなんてないから、ホルモンを打つには独自ルートで探すしかなかった。私の場合、ゲイ雑誌の「ホルモン注射あります」という広告を頼りにその医院へ行ったの。当時はシステムエンジニアをやっていて、会社の昼休みに駆け込んで1回3000円で打ってもらっていました。

凛●私が地元でホルモン治療を始めたのは看護学生のとき。学校で忙しい中、2週間に1度、車で1時間かけて通いました。

とまと●そんな遠くに？

凛●治療を受けるには精神科医2人の「意見書」が必要ですが、当時、県内で精神科と連携して治療を受けられるところは2ヵ所だけだったので、そこへ行くしかなかったんです。

とまと●それだと、医者の言われる通りやるしかないよね。日本では、医師がホルモン投与のメリットやデメリットを伝えて、じっくり当事者に考えさせてくれる環境が全然整ってない。

凛●そう。医療機関を選べないから、医者の説明に不満があっても、受け入れるしかないんです。

とまと●90年代の半ば以降、「性同一性障害」という病気にされたことで、ホルモンが打て、手術もできるようになったけれど、当事者の希望を無視して医者がコントロールする構造は、私たちの若い頃と変わっていないと感じる。

凛●結局、通院が大変なので、婦人科のある近所の病院で直談判したところ、そこは前例がないのに引き受けてくれました。ただ、ホルモン投与では胸が出たり体が丸くなったりしないので、落胆したのを覚えています。

とまと●そんなふうに劇的に変わる人って限られてるから。

凛●期待しすぎていました。だから21歳で外科的治療へ進み、ホルモンは7年以上打っていません。でも後日、私が交渉した病院で女性ホルモン治療を受けたトランス女性から、「凛さんのおかげです」と感謝されたんです。それは嬉しかったですね。

さらしな●私はホルモン治療にはそんなに期待を持っていなかったので、大学2年生の時から並行して、整形や脂肪吸引、声を高くする手術など、美容面の施術にのめり込みました。ホルモンの方は、東京の有名なジェンダークリニックを受診しました。そこで週1で毎回30分、自分史を書く「コーチング」を1年間受けた上で、治療を始めました。

とまと●何度も書かせられたんじゃない？

さらしな●意外と楽しかったですよ。それに自分史の記録は、裁判所での性別変更の審査で重要な資料になりました。そして今年、性適合手術なしで変更が認められました。

――2023年10月に最高裁が性同一性障害特例法の性別変更要件のうち、「生殖不能」の手術要件を違憲とする決定を出したことで、選択肢が大きく広がりましたね。

さらしな●以前は高額な手術費用と長期の休職が必要で、とくに若者にとっては大きなハードルでしたからね。

凛●私にとって手術はすごくつらい体験だったので、要件は変更すべきと思っていました。身体的にも精神的にも負担が大きいから、私の周りのトランス女性には「必ずやるべきとは思わない」と伝えています。

根強い偏見、広がる連帯

凛●ちなみに、私はタイで適合手術を受けたのですが、職場に3ヵ月の休暇届を出したら「前例がないので、行くなら辞めてくれ」と言われて…。

さらしな●えっ、診断書があるのに？

凛●理不尽ですよね。結局、一度退職して再面接を受けて復職する形になったのですが、術後で体調がしんどい中、税金や役所の手続きなどしなくてはならず、大変でした。

さらしな●最近はホルモン通院に傷病休暇が適用される企業が増えたりして、社会も変わってきたと感じます。

凛●確かに、私が通っていた大学でも実習用の制服が男女共通になったり、病院に「誰でもトイレ」ができたりといった目に見える変化はあります。でも、沖縄で傷病休暇が取れる企業はまれで、「トランスジェンダーは雇用しない」という病院さえあります。だから地域や組織ごとの格差を埋める必要があると思います。

とまと●制度が変わっても、社会のジェンダーギャップや偏見はまだまだ根深いよね。

――呼称が「性同一性障害」から「トランスジェンダー」へと変わり、「病理」から「人権」へのパラダイムシフトがあったとはいえ、課題は山積していますね。

とまと●たとえば日本精神医学会はいまだ古いガイドラインに固執して「性別移行を認める線引きをどうするか」といった点にこだわってる。「性自認」は固定されたものではなく、社会・文化的な要素が複雑に絡み合って形成されるものなの。だから病気に分類して排除するのではなく、どんな性別のあり方でも差別されない権利の保障こそ必要なことなのよ。

――差別の話でいうと、近年はネット上のバッシングも目立ちますね。

さらしな●本当にひどい。私がSNSで性別変更の報告をしたら大炎上しました。アイドルをめざして発信している中でも、理不尽な攻撃を受けて心が折れそうになることもあります。

とまと●それはもっと問題にすべき。ただ、攻撃してくる人たちだけに目を奪われる必要はないよ。今は間違いなく私たちの権利のため、ともに声を上げてくれる「アライ（理解者・支援者）」が増えている。

凛●医療現場でも、働きやすい環境を作ろうとしてくれる同僚や患者さんが増えています。世界は男女二元論だけで割り切れるものではないし、看護の現場でも大切なのは性別ではなく「誠意を持って他者に接すること」なんですよね。

とまと●私たちは社会の歪みに負けず、連帯の種をまき続けるしかない。正しい理解を広げるための発信と可視化は止めちゃいけないのよ。

自ら人生を選択できる未来へ

――最後に、次世代のトランスジェンダーへ向けメッセージをお願いします。

とまと●一番伝えたいのは、「人生を決めるのは他人ではなく自分」ということ。そして「トランスだからこの道しかない」と狭い視野で考えないでほしい。世界は広い。人生には無限の可能性があります。ホルモン療法や手術は人生の「オプション」に過ぎず、目的ではありません。「どう生きたいか」というビジョンを大切にしてください。

凛●同感です。私も昔は「夜の仕事しかできない」と思い込んでいました。けれど、勇気を出して看護師になり、今は研究にも励んでいます。社会へ出て、人と人との関わりにおいて、性別の悩みなんて小さなことだと分かりました。

さらしな●「自分の夢から目を背けず挑戦してほしい」と言いたいです。私はずっとアイドルになるのが夢でしたが、オーディションに合格しても戸籍が「男性」だと判明して、デビューを取り消される挫折を何度も味わいました。それでも挫けず、手術なしでの性別変更を勝ち取り、今もアイドル活動を続けています。

凛●そう。恐れず、進みたい道へ飛び込んでほしい。

さらしな●社会に適合することも必要かもしれないけれど、理不尽なルールに「それは違う」と立ち向かう生き方だってあります。ただし制度だけでなく、社会全体が変わらないと本当の意味での生きやすい世界にはならない。次の世代の人たちには、自分らしい挑戦を続け、そうした世界を一緒に引き寄せてほしいな。

凛●とまとさんをはじめとした先人たちのバトンを繋ぎ、自由に生き方を選べる社会を作っていきたいですね。

――3人の言葉には、それぞれの時代を生き抜いてきた重みと希望が詰まっていると感じます。「来年も、生きて会おう」という言葉を胸に、歩みを止めずトランスマーチを続けていきましょう。

とまと●世の中捨てたもんじゃないのよ。私たちがまいた種が芽吹き、次の世代が誇りを持って生きられる未来を信じています。

さらしな叶夏（さらしな・かんな）



2002年生まれ、愛媛県出身。東京理科大学に通いながら「トランス女子アイドル」としてSNSやYouTube等で発信を開始。手術なしでの性別変更手続きにより、今年、戸籍を女性に変更。現在は外資系コンサルタントとして働きながらアイドルになる夢を追いかけ、SNSを中心に多角的な発信活動を行っている。

新垣凛（あらがき・りん）



1996年生まれ、沖縄県在住。看護師・研究者。幼少期からの性の違和感を経て、母親の助言を受け、憧れていた看護の道へ進む。臨床現場で勤務しながら性別移行を行う。現在は保健室看護師として働く傍らトランスジェンダー看護師が直面する困難や労働環境の改善に関する研究に取り組んでいる。

畑野とまと（はたけの・とまと）



1965年生まれ。一般社団法人 TransgenderJapan代表、東京トランスマーチ実行委員会共同代表。1996年に日本初のトランスジェンダー専門サイト「トランスジェンダーカフェ」を開設。ライターや活動家として、トランスジェンダーの人権擁護、非病理化、社会の意識変革をめざし長年発信を続けている。

世界のトランスマーチ開催場所 2026年

世界とつながり、逆風の中でも歩み続けるトランスコミュニティ

世界ではプライドパレードをはじめとしたLGBTQ+の活動が広がり、理解が着実に進んできました。しかし、トランスジェンダーの人々に向けられる偏見は依然として深刻で、UKでは近年、制度面や社会的議論の中で逆風が強まり、権利の後退が懸念されています。その為か、トランスマーチの開催が大幅に増加しています。その現実に向き合いながら、連帯と希望を掲げて歩く「トランスプライド／トランスマーチ」が世界各地で開催されています。2026年時点で、その数は72カ所にのぼります。同じ空の下で、多くの仲間たちが声を上げ、未来へ向けて歩んでいることを感じていただければ幸いです。

ピックアップ！トランスマーチ

Trans Pride Thailand

2024年、バンコクで初開催されたトランスジェンダー主体のPride。「Self Determination for the Future（未来は自分で決める）」を掲げ、タイ各地の当事者や団体が参加した。トランスの自己決定、権利、社会参加をテーマに、2026年には歴史や法制度、経済を扱う展示やトークイベントへと活動を拡大。タイ社会の大きな変化の中で、トランス当事者自身の声を可視化する新しい運動として成長している。

世界でトランスマーチがどんどん広がってるよ！

開催国（地域）：UK
4 場所：Birmingham
Event Name：Trans Pride Birmingham
5 場所：Brighton
Event Name：Trans Pride Brighton
6 場所：Bristol
Event Name：Trans Pride South West
7 場所：Cardiff
Event Name：Trans Pride Cardiff
8 場所：Coventry
Event Name：Coventry Trans Pride
9 場所：Edinburgh
Event Name：Edinburgh Trans Pride
10 場所：Hastings, St Leonards and Bexhill
Event Name：Trans Pride in Hastings
11 場所：Leeds
Event Name：Trans Pride Leeds
12 場所：Liverpool
Event Name：Liverpool Trans Pride
13 場所：London
Event Name：London Trans+ Pride
14 場所：Manchester
Event Name：Trans Pride Manchester
15 場所：Northern Ireland
Event Name：Trans Pride NI
16 場所：Norwich
Event Name：Trans Pride Norwich
17 場所：Nottingham
Event Name：Notts Trans Pride
18 場所：Plymouth
Event Name：Trans Pride Plymouth
19 場所：Portsmouth
Event Name：Trans Pride Portsmouth
20 場所：Scotland
Event Name：Trans Pride Scotland
21 場所：Southampton
Event Name：Trans Pride Southampton
22 場所：Surrey
Event Name：Trans Pride Surrey
23 場所：Tower Hamlets
Event Name：Tower Hamlets Trans+ Pride
24 場所：Walthamstow
Event Name：Trans Pride Walthamstow
25 場所：Winchester
Event Name：Trans Pride Winchester

開催国（地域）：Ireland
1 場所：Cork
Event Name：Trans+ Pride Cork
2 場所：Dublin
Event Name：Trans & Intersex Pride Dublin
3 場所：Limerick
Event Name：Trans Pride Limerick

開催国（地域）：Germany
31 場所：Berlin
Event Name：Trans Pride Berlin
32 場所：Cologne
Event Name：ColognePride (CSD) - Trans Section
33 場所：Hamburg
Event Name：Hamburg CSD - Trans Section
34 場所：Munich
Event Name：Munich CSD - Trans Section

開催国（地域）：South Korea
44 場所：Seoul
Event Name：트랜스젠더 추모의 날 행진
(Transgender Day of Remembrance Day march)

開催国（地域）：France
29 場所：Paris
Event Name：ExisTransInter

開催国（地域）：Thailand
43 場所：Bangkok
Event Name：Trans Pride Thailand

開催国（地域）：Netherlands
30 場所：Amsterdam
Event Name：Trans Pride Walk Amsterdam

開催国（地域）：Spain
26 場所：Barcelona
Event Name：Barcelona Pride - Trans Program
27 場所：Madrid
Event Name：Madrid Pride (MADO) - Trans Contingent
28 場所：Sevilla
Event Name：Marcha Trans de ATA - Sylvia Rivera

開催国（地域）：Taiwan
45 場所：Taipei
Event Name：台灣跨性別遊行
(Taiwan Transgender Parade)

開催国（地域）：Turkey
37 場所：Istanbul
Event Name：Istanbul Trans Pride March

開催国（地域）：Poland
35 場所：Poznan
Event Name：Trans Pride - Marsz Równosci Osób Transpłciowych i Niebinarnych

開催国（地域）：Pakistan
38 場所：Lahore
Event Name：Trans-Pride Parade

開催国（地域）：Italy
36 場所：Torino
Event Name：Trans Freedom March

開催国（地域）：Japan
46 場所：Tokyo
Event Name：Tokyo Trans March

開催国（地域）：India
39 場所：Bengaluru
Event Name：Bengaluru Pride (with Trans contingent)
40 場所：Delhi
Event Name：Delhi Queer Pride (with Trans contingent)
41 場所：Lucknow
Event Name：Transgender Gaurav Yatra / Transgender Pride Walk
42 場所：Mumbai
Event Name：Mumbai Queer Azaadi March (with Trans contingent)

開催国（地域）：USA
54 場所：Atlanta
Event Name：Atlanta Trans March
55 場所：Baltimore
Event Name：Baltimore Trans Pride
56 場所：Boston
Event Name：Boston Trans Resistance March
57 場所：Dallas
Event Name：TX Trans Pride
58 場所：Los Angeles
Event Name：Los Angeles March for Trans & GNC Rights / Trans Pride LA
59 場所：New York
Event Name：Trans Day of Action
60 場所：Northwest Arkansas
Event Name：NWA Pride Trans March & Rally
61 場所：Orange County
Event Name：Trans Pride OC
62 場所：Palm Springs
Event Name：Trans Pride Fair
63 場所：Philadelphia
Event Name：Philly Trans March
64 場所：San Francisco
Event Name：San Francisco Trans March
65 場所：Seattle
Event Name：Trans Pride Seattle
66 場所：Washington D.C. & Orlando & West Hollywood
Event Name：National Trans Visibility March
67 場所：Washington, D.C.
Event Name：Capital Trans Pride / Trans Pride DC

開催国（地域）：Australia
47 場所：Melbourne
Event Name：Trans Pride Australia (events within Midsumma)
48 場所：Sydney
Event Name：Trans Pride Australia (events within Sydney Mardi Gras etc.)

開催国(地域):New Zealand
49 場所:Wellington
Event Name:Pride Hikoi (Trans & Gender Minority March)

開催国（地域）：Canada
50 場所：Montréal
Event Name：Montréal Trans March
51 場所：Ottawa
Event Name：Ottawa Trans March (within Capital Pride)
52 場所：Toronto
Event Name：Toronto Trans March
53 場所：Vancouver
Event Name：Vancouver Trans March

つながりは国境をこえて！！

開催国（地域）：Mexico
68 場所：Mexico City
Event Name：Marcha del Orgullo LGBTI+ (Trans contingent)

開催国（地域）：Brazil
70 場所：Rio de Janeiro
Event Name：Marcha Trans & Travesti RJ
71 場所：São Paulo
Event Name：Marcha do Orgulho Trans (São Paulo Trans Pride)

開催国（地域）：Colombia
69 場所：Bogotá
Event Name：Yo Marcho Trans

開催国(地域):Argentina
72 場所:Buenos Aires
Event Name:Marcha del Orgullo (Trans block)

地球のあちこちでみんなが歩いてるよ～！

ピックアップ！トランスマーチ

Brighton Trans Pride

2013年から続く、欧州最大級のTrans Pride。トランス、ノンバイナリー、インターセックスの人々が、祝祭と抗議の両方を掲げて街を歩く。

Istanbul Trans Pride March

2010年から続いてるマーチで、2015年以後は当局から禁止される中、ゲリラ的に毎年開催されている。

クラウドファンディング ご支援ありがとう

今年で６回目を迎える東京トランスマーチ 2026 は、皆さまの力強いご支援で実現しました。
東京トランスマーチ実行委員会一同は、クラウドファンディングを通して寄せられた応援により、大きな勇気をいただき力づけられました。
ご支援いただいた皆さまのお名前を、感謝の気持ちとともに掲載いたします。
そして、ここに載っていない方々にも、同じく深い感謝をお届けします。
あなたの応援が、誰かの希望につながっています。本当にありがとうございます。

クラウドファンディング支援者様

フクシマスズミ様　シアン様 taqotsuka 様 だいすけあ様 西尾慧吾様 星　公一郎様 安次嶺沙友希様 koneco 様 U B 様 くぎ様
MAGU 様 えいみ様 やる気ない Jess 様 Penchan 様 ともアセクシャル様 サトシカワゴエ様 eunik 様 watarinabe 様 dotti18 様
es_toru 様 太公望様 ナオ様 みむ様 じろう様 ゆうちゃん様 まり様 ピロシ様 AK 様 K N 様 NASSAN 様 だいき様 ブルームーン様
塔野茅子様 みさこみさこ様 Junro 様 Harumi 様 三鷹のぷーさん様 白羽凛様 Uzulla 様 abfic 様 岡山から様 こいけ様
僕らの移住生活様 eimei 様 ryo_singin 様 ひかるん（ALLYES 代表）様 ituki 様 yeongdae kim 様 isochan 様 Izu 様 nakao 様
谷藤律子様 高橋悠太様 しらいし様 ya 様 akki 様 miwa 様 ユーミン様 ネコダ珈琲様 Kitaroh 様 サイダー様 サイダー様
agepan 様 けいこさん様 aika.crocus@nifty.com 様 Mitsuwo 様 夢みる子象様 けそぺる（Tamari-Ba）様 津田　愛梨様 tk 様
on Bora (지구별 세계시민)様 プレカリアートユニオン様 XXX 様 nekotora7 様 moment 様 生姜様 めいえふ！様 板井仁様
Xiyu Wen 様 れおな様 かずちゃん様 しみ変様 石坂様 岡部鈴様 アベやよい様 SACHI 様 うらちゃん様 新山 賢様 ゆかぽん様
片山すみこ様 たかちゃん様 k110 様 高知しゃみん様 すなひで様 へなへな様 キャシー様 岩田彬人様 ぴょんきち様 笹沼 弘志様
とし兄い様 みかん様 路上哲学読書会様 松原准一様 真木柾鷹様 rp551201 様 まえ様 えぐりん様 ouenshimasu 様 Wise 様
FTM ラジオりょう様 くれちゃんマン様 indigo 様 Aixx's_Ryyo 様 きのこ飴様 水谷陽子様 Frederic_Manheim 様
Cristina 様 角野様 Masanori Yamasaki 様 haru ono 様 よしりん♪様 苫米地伸様 杉山文野様 生島嗣様 いけちゃん様 オツカル様
yumi 様 チャッカ様 michiyo 8 様 asato 様 ryoseas 様 EvaLuna 様 taqotsuka 様 西尾慧吾様 gon 様 umoregi 様 マイ様 pace 様
S 様 うまに様 イシダ 073 様 岡崎彩子様 石井由香理様 fujimon98 様 Keep 様 中野　栄二様 眠い様 森川暁夫様 池田様 Ida 様
朴金優綺（wooki Park-Kim）様 Nyansuka は様 池田ゆう子様 齋藤真由美様 金まさのり様 かずえちゃん様 誠明様 かなでかな子様
kunisan 様 織田健志様 トニール様 Asato Honzaki 様 しらなみ５号様 T.K 様 みー様 佐藤倫子様 まめっち様 ダイソン様
かっちゃん様 ながひさ様 よしき様 あゆ様 アヤネ様 Ellie 様 じゅん様 瀬戸マサキ様 様 シッペ様 thamantha 様 匿名様

応援メッセージを寄せて頂いた方々

パクハンヒ様 七崎良輔様 金澤伶様 小野寺葉月様 安江ヒロ様 西尾けいご様 中野　栄二様 浦狩知子様
みさこみさこ様 石川大我様 清末愛砂様 瀬戸マサキ様 よだかれん（依田花蓮）様 市川明美様 中塚幹也様
僕らの移住生活様 三ツ矢雄二様 朝倉むつ子様 東ちづる様 心韻(LOY)様 田中地大様 山縣真矢様
ネコダ珈琲様 松岡弘明様 西原さつき様 かずえちゃん様 井田奈穂様 鈴木賢様 金まさのり様 河上りさ様
佐藤倫子様 松浦 慶太様 仲岡しゅん様 中川美悠様 陳敏嘉様

※クラウドファンディング掲載順で紹介しています

ぴ～す様 豊下明菜様 けい様 にっぴー / 新田敏男（フリーランス LGBTQIA+ 活動家）様 ちわ子様 Moco 様 坪井小百合様
yum 様 松榮久美子様 加古晴子様 Kyle McCloskey 様 Arma 様 オガワチガ様 matchan 様 ムーミン様 キョンちゃん様
ライラック様 ミポリン様 laforet 様 あべらんどん様 須田様 katopon 様 だいちゃん様 Ting 様 松岡弘明様 すみち様 そらとも様
かよ様 aonotadahiko 様 Keisuke Nakagawa 様 nyahanyaha 様 ヨンウォン様 生島嗣様 池田良子様 satie_forgood 様
臺灣跨性別醫學學會 (Taiwan Association Transgender Medicine) 様 Tomoko Seto 様 むらさき様 yuni Kayama 様 ken 様
bear 様 結希様 ソネさん様 チャリンコチャーリー様 丸山様 Masakazu MATSUOKA 様 BAKU 様 らむきば様 Kitaroh 様
Sony 様 TOKI 様 Aki 様 kei 様 鳩時計様 すずき様 石村ヒデキ様 ふみの様 町山智浩様 heiter 様 shimesaba 様 グリ様
なす様 彩那様 小林りょう子様 ゆーぼー様 ★み～ちゃん★様 各務きあ@299 様 こや様 mehAQ 様 渡邉誉也様 ミコ様
飯塚寿之様 Ryuya 様 YUKAPI 様 jo. 様 a.c 様 小野寺葉月様 neko 様 千倉よしの様 アライユミ様 齋藤真由美様 星野亘様
松原准一様 あずま様 Harsha Pakshika 様 樋脇岳様 HIDEAKI TAZAKI 様 めい様 寅子様 tm 様 RYUKS 様 Rose Valle 様
sundoli 様 erina 様 あーる様 Koichiro Yoshioka 様 eminakamuy 様 Terumasa 様 みこる様 mito 様 るくろ様 allyes.hikaru 様
YUKIYUKI 様 7xuCgM-_Cq!nU9q 様 ガラスのアリス様 k.h 様 Miku & Waon 様 サトシ様 なべひげ様 pine 様 寺田留架様
ほまれ様 G. クランツ様 れいちゃん様 面屋洋様 Hana 様 Satoppe 様 あーちゃん様 まなぶ様 ようくん様 こうへい様 gon 様
たけち様 Kazuki Watanabe 様 辻愛沙子様 たいせい様 RS 様 大河様 Taro Yoshioka 様 吉田彩夏 Ayaka Yoshida (she/her) 様
ゆい様 井上ひとみ様 Gustav 様 千秋こなつ様 ただし(^^)/ 様 くるんてえぷ様 yukikomarch 様 Yusuke_Ueda 様 佐藤倫子様
あゆみむ様 はっちい様 0 様 goro 様 ともこ様 Marble-Lab 様 つーさん様 ふじ はじめ様 すぎ・えみ様 usa tune（らふっと）様
ながひさ様 匿名様 くろねこ Chat Noir 様 たかゆき様 アキオ様 にくまる様 G-rockets 様 チャメ様 Shogo Amo 様

※クラウドファンディング掲載順で紹介しています
※銀行振り込みで支援頂いたかたで名前掲載希望の方も掲載させて頂きました

トランスジェンダーに関わる1年間の出来事　2025年10月〜2026年9月

2025

10月 後半

- 東京高裁が、性別変更の「外観要件」を申立人に適用することは違憲として法令上の性別変更を認めた（31日）。

11月 前半

- 台湾：2025 第7届台灣跨性別遊行が開催される（24日）
- （海外）米：連邦最高裁が、旅券の性別欄を出生時の性別に限定する政権方針を、訴訟継続中も実施できると判断（6日）。自己申告による性別や「X」表記が再び制限された。
- 厚生労働省が「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針（エイズ予防指針）」を全部改正（10日）。国際連合エイズ合同計画（UNAIDS）などではキーポピュレーションとなっているトランスジェンダーだが、同指針では明記されず。
- GID特例法3条1項2号"非婚要件"は違憲であるとして婚姻関係を維持したままでの法令上の性別変更の申立て（「なんでうちらが離婚せなあかんの？」裁判、通称うちら裁判）について大阪高裁は性別変更を認めず（14日）。

中盤

- （海外）EU：TGEUが、2024年10月から2025年9月までに世界で少なくとも281人のトランス／ジェンダー多様な人々が殺害されたと報告。活動家や運動の指導者が狙われる傾向も指摘した。
- 1960年代の「ブルーボーイ事件」を題材にした映画『ブルーボーイ事件』が全国公開（14日）。自らがトランスジェンダーであることを公表している飯塚花笑監督が手がけ、トランスジェンダー当事者の俳優も出演した。

後半

- 甲府市議会政治倫理審査会は作家の李琴峰さんのSOGIをSNS上でアウティングした村松ひろみ市議の行為を政治倫理基準違反と認定して警告を出し、同氏に誓約書の提出を求めた（19日）。
- 第5回東京トランスマーチを新宿で開催（22日）。マーチに加え3年ぶりとなるトランスジェンダーを中心としたフェスティバルも行われた。

12月 中盤

- 結婚の自由をすべての人に東京2次訴訟で同性婚の法制化がなされないことは「合憲」であるという不当判決（28日）。その理由のひとつとして「性自認と身体的性別が一致しない者」は今では手術なしで法令上の性別を変更できることが挙げられ、トランスジェンダーに関する認識の杜撰さが垣間見える。
- （海外）米：保健福祉省が、未成年者へのジェンダー・アファーミング・ケアを行う病院や、公的医療保険による治療費負担を制限する一連の規則案を発表した（18日）。

後半

- 仲岡しゅん弁護士に対するトランスヘイト投稿・誹謗中傷を繰り返していた40代女性に対して東京地裁は名誉毀損を認め、100万円の支払いを命じる一審判決を支持し、女性の控訴を棄却した（24日）。
- （海外）カザフスタン：大統領が、いわゆる「LGBTプロパガンダ」を禁止する法改正に署名（30日）。LGBTQ+やトランスジェンダーに関する情報発信・報道・可視化を萎縮させるとして批判された。

2026

1月 後半

- 立憲民主党・無所属会派が2025年6月に衆院に提出した性同一性障害特例法を改正する法案が、衆議院の解散に伴い審査未了で廃案となる（23日）。

2月 前半

- 第51回衆議院議員総選挙投開票（8日）。レズビアンを公表していた尾辻かなこ前議員が落選し、オープンリーなLGBTQ+当事者国会議員が衆参両方で0人となる。
- トランス差別投稿に対するミラーリング行為を理由に第三者から懲戒請求をされた仲岡しゅん弁護士の懲戒審査が大阪弁護士会館で行われる（9日）。

中盤

- アメリカ：連邦政府がニューヨークのストーンウォール国定公園に掲げられているプライドフラッグを撤去（10日）。
- "日本で最初のオープンリートランスジェンダー大学教員"の三橋順子さんが明治大学で最終講義を行う（10日）。14年間の大学非常勤講師生活に幕。

3月 前半

- （海外）米：連邦最高裁が、トランスジェンダーの生徒の情報を本人の同意なく保護者へ伝えることを制限していたカリフォルニア州の措置を停止した（2日）。
- 渋谷でウィメンズマーチ東京2026が開催される（8日）。先だって発表された声明では「ジェンダー平等を支持する立場に立つならば、排除ではなく連帯こそが必要である。」という姿勢が明記された。
- （海外）米：NHSイングランドが、16〜17歳への男性化・女性化ホルモンの新規処方・紹介を一時停止し、方針について意見募集を開始（9日）。すでに治療中の人まで一律に停止する措置ではない。

中盤

- （海外）EU：EU司法裁判所が、他の加盟国で法的に確立された性別について、身分証明書等の変更を一律に拒否する国内制度は、EU域内の移動の自由との関係でEU法に反すると判断した（12日）。

後半

- （海外）国際オリンピック委員会が、女子カテゴリーへの出場に原則としてSRY遺伝子検査を求める統一方針を発表（26日）。
- （海外）インド：トランスジェンダーの法的定義や認定制度を変更する改正法案が短期間で上下両院を通過し、大統領が承認（30日）。医学的・行政的な管理を強め、権利を後退させるとして批判された。

4月 中盤

- TransgenderLive Vol.4が開催される（31日）。移住連ほか10団体が呼びかける「ヘイトにNO！全国キャンペーン」の協賛企画となる。
- フィリピン人トランス女性難民のアイコさんが東京入管による難民不認定処分の取り消しを求めて東京地裁へ提訴（11日）。
- 大阪府島本町議会議員の河上りささんが「トランスヘイトに黙らない」裁判を大阪地方裁判所に提訴（13日）。
- アメリカ：連邦政府が方針を転換し、ニューヨークのストーンウォール国定公園のプライドフラッグの掲揚継続を受け入れる（13日）。

後半

- 参政党の神谷宗幣代表が札幌市内での街頭演説で「変なLGBTとかどうでもいいんですよ。教えなくてもいいんですよ。あんなもの。」と発言（18日）。

5月 前半

- 「変なLGBT」発言に対し、北海道で活動する26団体・5個人から成る北海道LGBTQアライアンス（仮）が「参政党・神谷宗幣代表の発言に対する共同声明」を発表（21日）
- （海外）EU、ハンガリー：EU司法裁判所が、未成年者へのLGBTQ+表現などを制限するハンガリーの法律は、EU法およびEUの基本的価値に反すると判断した（21日）。
- 愛媛県松山市議会議員選挙で、「四国初のLGBTQ当事者市議会議員」を公表しているわたなべひろゆき市議が2期目の当選（19日告示、26日投開票）。
- 大阪弁護士会は仲岡しゅん弁護士を「戒告」処分とした（28日）。

中盤

- 「乙女塾フェス〜みんなのステージ〜」開催（4日）。
- ノンバイナリー当事者が戸籍の「長女」記載を性別を明らかにしない記載に変更するよう求める訴訟の抗告審で、大阪高裁は抗告棄却としつつ、男女以外の記載を認めない戸籍法の運用について、法の下の平等を定める「憲法14条の趣旨に抵触するもので是正すべき状態」と判断した（8日）

後半

- Tネットが約1,600人を対象とした意識調査を公表（15日）。本人が望む性別で社会生活を送ることを尊重すべきだとする回答など、肯定的な回答が約7割を占めた。
- GID特例法の非婚要件の違憲性を問う「うちら裁判」申立人や弁護団が最高裁に要請行動を行う（18日）。
- （海外）英：英国政府が最高裁判決を受けた平等法の新しい実務規範を議会に提出（21日）。男女別サービスを「生物学的性別」に基づき運用し、一定の場合にトランスの人を除外できるとした一方、代替サービスを設けないことは差別になり得るとした。
- 作家の李琴峰さんのSOGIをSNS上でアウティングした滝本太郎氏に対して、東京地裁はプライバシー侵害を認定し、22万円の支払いを命じた（27日）。

6月 前半

- TokyoPride2026が渋谷・代々木公園で開催（6日、7日）。トランスジェンダー関連フロートは「Trans Rights/Tokyo Rainbow Pride」と「東京トランスマーチ inTokyoPride」のふたつ。
- （海外）米：Qween Jeanが『Cats: The Jellicle Ball』の衣装デザインでトニー賞を受賞（7日）。公表しているトランスジェンダーとして初のトニー賞受賞者となった。

中盤

- 山縣真矢編著『LGBTヒストリーブック日本編ー平等を求めて声を上げた人々の闘いー』が出版される（15日）。日本のLGBTQ+権利回復運動に関する初の通史的書籍。
- 政府がLGBT理解増進法に関する基本計画を閣議決定（16日）。自民党内保守派への「配慮」から、当初案よりも書き振りが後退した。

後半

- 美輪明宏さんが老衰により91歳で逝去する（20日）。
- （海外）Ipsosが2026年版Pride Reportを発表（24日）。トランス選手が性自認に基づくカテゴリーで競技することへの支持は、調査対象国平均で2021年の32%から2026年の22%に低下した。
- 日本初のプライドパレードを主催した南定四郎さんの半生を追った映画「熱狂をこえて -Beyond The Fire-」が公開される（26日）。

7月 前半

- （海外）米：連邦最高裁が、ウェストバージニア州とアイダホ州によるトランス女子・女性の女子スポーツ参加禁止を支持する判断を示す（30日）。平等保護条項やTitle IXに反するとの訴えを退けた。
- ライフカスタマイズラボ（今将人さん主宰）が埼玉県所沢市に私設図書館「レガシーライブラリー」を開設（1日）。LGBTQ+関連資料約2万点が所蔵されている。
- LGBT法連合会が「SOGIハラ防止・啓発キャンペーン【それ、SOGIハラって知ってますか？】を展開開始（1日）。26年10月施行の労働施策総合推進法によりSOGIハラに対する事業主の防止措置が強化・明確化されることを受けての啓発。

中盤

- 高市総理は「「性的指向及びジェンダーアイデンティティを精神的介入により変更しようと試みる行為」が本人の希望によらずに行われることは望ましくない」との見解を示す（17日）。質問主意書への回答。
- トランスジェンダーの子どもの成長を追ったメキシコのドキュメンタリー映画「きっと青春大革命！カルラ8年の記録」が公開される（18日）。

後半

- （海外）英：London Trans+ Prideがロンドン中心部で開催（25日）。英国最高裁判決や平等法の新指針を受け、トランスジェンダーの権利を訴える大規模な行進となった。
- ドイツ：ベルリンで開催された第48回クリストファー・ストリート・デイ（プライドパレード）が襲撃され、1名が死亡、29名が負傷する事態となった（25日）。

8月 前半

- 仲岡しゅん弁護士が大阪弁護士会による「戒告」処分を不服として、日本弁護士連合会に審査請求（27日）。
- イギリス：英国政府が最高裁判決を受けた平等法の新しい実務規範が施行される（5日）。

中盤

- （海外）米：CMSが、18歳未満への特定のジェンダー・アファーミング・ケアについて、連邦政府のメディケイド資金を認めない最終規則を発表（11日）。CHIPでは19歳未満が対象となった。

後半

- 静岡県下田海水浴場で身元不明のご遺体が発見される（13日）。身体的特徴の報道の仕方をめぐって議論が展開される。

9月 前半

- トランス男性であることを公表している臼井崇来人さんが岡山県新庄村長選挙に無所属で立候補（25日告示、30日投開票）。30票を獲得して健闘するが、惜敗。
- （海外）米：司法省が、トランスジェンダーの生徒を保護者への自動的な通知なしに支援していたカンザス州の学区を提訴（1日）。生徒のプライバシーと保護者の権利をめぐる対立がさらに激化した。
- 台湾：作家の李琴峰さんに対する侮辱的な投稿やアウティング、ミスジェンダリングをSNS上で繰り返していた台湾（中華民国）国軍勤務の汪念瑩氏に対して台湾高等裁判所は1審判決を維持して10万台湾ドル（約50万円）の支払いを命じた（5日）

中盤

- トランス男性が性別変更前に採取した自分の卵子をパートナーの女性に提供して生まれた子の父親であることを認めるよう求める訴えを東京家裁に起こした（18日）。

後半

- トルコ：トルコ警察がLGBTQ+活動家に対して一斉取り締まり（13日〜）。少なくとも162人が逮捕される事態に。トルコ政府が進める「私の家族は安全」キャンペーンなる反LGBTQ+政策によるもの。
- 国連：トルコのエルドアン首相が国連総会の一般討論演説で「世界的なジェンダーニュートラル化政策は、家族制度だけでなく、罪のない子どもたちを標的とした包囲網へと変貌している」と主張（22日）。
- 性暴力冤罪事件に巻き込まれた浅沼智也さんが、無罪確定後もSNS上で浅沼さんが性暴力加害者であるかのような発信を繰り返してきたトランス差別者青谷ゆかり（こむぎ）を東京地裁に提訴（24日）。損害賠償と投稿の削除を求める。

東アジアトランスネットワーク応援メッセージ

東アジアの仲間たちからの東京トランスマーチ2026と、参加者のみなさまへの暖かいメッセージを紹介します。

台灣同志諮詢熱線協會
Taiwan Tongzhi(LGBTQ+) Hotline Association

私たちは、台湾跨性別遊行（台湾トランスマーチ）の主催団体である台湾同志諮詢熱線協会（Taiwan Tongzhi Hotline Association）です。東京トランスマーチの仲間のみなさんと肩を並べて、ともに歩めることを、とても嬉しく、そして感慨深く思っています。トランスジェンダーの声と課題が、より多くの人に届き、知られていくことを願っています！

台湾では 2019 年に、東アジアで初めてとなるトランスジェンダー・パレードを開催しました。今年は「境界を越え、肩を並べて歩む」をテーマに掲げています。

世界的にトランスジェンダーへの恐怖や偏見が強まるなか、私たちは性別二元論による制限を越えるだけでなく、国境や地域の隔たりも越えていかなければなりません。

アジア、そして世界各地のトランスジェンダー・コミュニティをつなぎ、お互いに支え合い、力を結集しながら、より多様で、誰もが優しく、自分らしくいられる世界へ、ともに歩んでいきましょう。

Together Stronger！

춘천퀴어문화축제
(春川（チュンチョン）クィア文化フェスティバル)

こんにちは、春川（チュンチョン）クィア文化フェスティバル組織委員会です。

春川クィア文化フェスティバルは、驚くべきことに「東京トランスマーチ」と同じ日に始まりました。2021年11月20日の「トランスジェンダー追悼の日」に第1回フェスティバルを開催し、去る8月29日には第6回フェスティバルを開催しました。

私たちは、人口28万人の地方都市で開かれる、比較的小規模なクィア・プライド・イベントです。小さな街でクィアとして生きていくことは、時に、ただ自分の存在を明らかにするだけでも大きな勇気を必要とすることです。

特にトランスジェンダーの生活は、医療、労働、住居といった具体的な生活の領域において、絶えず自身の存在を説明し、証明しなければならない状況に直面しています。だからこそ、共に存在し、生きていることを示すトランスマーチの行進が、より一層重要だと考えています。

春川から、東京トランスマーチへ温かい連帯の意を送ります。

커뮤니(CommuniT)

2026 年の「東京トランスマーチ」の開催を心よりお祝い申し上げます。トランスジェンダーの日常が守られる平等な世界を目指して、ソウルのコミュニ T がいつでも熱い連帯の気持ちを込めて共に歩んでまいります。ハッピートランスマーチ!!

コミュニ T(CommuniT) は、韓国・ソウルでトランスジェンダーコミュニティのハブスペースを準備している非営利団体です。

가톨릭 앨라이 아르쿠스
(カトリック・アライ「アークス」)

戦争は、マイノリティの命を脅かします。
政治が憎悪と戦争を煽り、私たちの日常を破壊している今、私たちは平和とトランスジェンダーの解放をともに訴えます。

誰も殺されず、誰も排除されない世界に向かって、アークスもともに歩みます。

광주퀴어문화축제
(光州クィア文化フェスティバル)

こんにちは。あらゆる差別に抗い、差別を受けるすべての人々と連帯する、光州クィア文化祭共同組織委員長のハンソルです。

韓国において民主主義を象徴する都市・光州で活動するセクシュアル・マイノリティの人権団体として、Tokyo Trans March 2026 に連帯のご挨拶を送ります。

世界中でセクシュアル・マイノリティに対する憎悪が広がるなか、私たちは、より大きな連帯の力でこれに立ち向かい、乗り越えていきます。

人権は、譲歩したり、妥協したりできるものではありません。

ともに乗り越えていきましょう。
韓国から、連帯の思いを送ります！

Qsign

Queer Youth Cultural Alliance Qsign は、すべてのトランスジェンダーが自分らしく生きられるようになるその日まで、日本のトランスジェンダー運動に支持と連帯を送ります！

(한국)노동당성소수자위원회
(韓国) 労働党・セクシュアルマイノリティ委員会

差別も貧困も戦争もない、"Beautiful World" となるよう、いつも尽力されている東京トランスマーチの仲間のみなさんに、連帯のご挨拶を送ります。

今日という一日が、私たちにとって忘れられない一日となり、誰もが一日一日を生きていくための力となることを願っています。

海を越えた場所から、第 6 回東京トランスマーチの開催を心より応援します！

한국성폭력대응센터
(KCSVRC，韓国サイバー性暴力対応センター)

第 6 回東京トランスマーチの開催をお祝いします。

韓国サイバー性暴力対応センター (KCSVRC) は、オンライン空間におけるジェンダー暴力を中心に活動する女性運動団体です。

ヘイトや暴力が利益を生み出すものとなっているオンラインプラットフォーム産業の問題に取り組むとともに、私たちは特に、オンライン上でますます激しく、そして広範囲に広がっているトランスジェンダーへのヘイトに立ち向かいたいと考えています。

女性解放は、トランスジェンダーの解放なしには実現できません。

女性運動団体として、トランスジェンダーの解放のために、ともに歩んでいきます。

改めて、東京トランスマーチの開催をお祝いします！

한국성소수자인권단체연합 무지개행동
(Rainbow Action Korea，韓国性的少数者人権団体連合 虹行動)

第 6 回東京トランスマーチをお祝いします。
韓国性的少数者人権団体連合「レインボー・アクション・コリア」は、東京トランスマーチに連帯します。

韓国でも 2018 年からトランスジェンダー追悼の日を記念する集会を行ってきましたが、今年は「2026トランスマーチ」と名称を変更し、より大規模かつ力強く開催します。今年のテーマである「Beautiful World」のように、トランスジェンダーの誰もが堂々と生きられる美しい世界を、韓国と日本の両国で共に築いていきましょう！

転換
(SWITCH MOVE)

日本のみなさん、こんにちは。東京トランスマーチ 2026 の開催に、心からお祝いと連帯のご挨拶を送ります。

私たちは韓国で、進歩的・革新的な社会運動について考え、実践している政治団体です。団体内には多くのセクシュアル・マイノリティのメンバーがおり、さまざまな連帯活動を展開しています。

韓国でも、セクシュアル・マイノリティが政治の主人公となれるよう、これからさらに努力していきます。

改めて、東京トランスマーチ 2026 の開催を心よりお祝い申し上げます。そして、皆さんとぜひ直接お会いできることを楽しみにしています。

트랜스해방전선
(TransLiberationFront / トランス解放前線)

第 6 回東京トランスマーチの開催を心よりお祝い申し上げ、連帯の意を表します。

トランス解放前線は、2018 年から TDoR（トランスジェンダー追悼の日）から続けているトランスジェンダー人権団体です。第 6 回東京トランスマーチが開催されると知り、とても嬉しく思いました。

世界各地で、トランスジェンダーの存在を可視化し、より良い社会をつくるために歩み続けていることに、深いつながりと連帯を感じています。

私たちがどこに暮らしていても、トランスジェンダーはこの世界をともに生きる存在です。私たちの存在をより堂々と示し、互いにつながりながら、ともに前へ進んでいきましょう。

遠く韓国から、心からの連帯と祝福をお送りします！

행동하는성소수자인권연대
(HaengSeongIn，行動する性的少数者人権連帯)

東京で開催される第 6 回トランスマーチを心よりお祝い申し上げます！

「行動する性的少数者人権連帯」は、性的少数者の尊厳と権利のために共に語り合い、抵抗と連帯を築くコミュニティです。

世界は依然としてトランスジェンダーの存在を消し去ろうとしたり、遠ざけようとしたりしています。だからこそ、私たちはより多く語り、街頭に立ち、共にこの社会を生きていくのだと、力強く叫び続けます。

トランスマーチはプライドの行進であると同時に、仲間たちと大切な想いを分かち合う場でもあります。その力強い想いを胸に、行進から日常に至るまで、私が私らしく生きられる世の中ができるまで、連帯しましょう！

あらゆるジェンダー・セクシュアリティの方に ご受診いただけます。

性別不合・違和の悩みをはじめ、性の健康についてご相談いただけます!



デリケートな悩みを一人で抱えている方が
大勢いらっしゃると思います。
少しでも安心していただけるよう、
親身になってお話を聞かせていただきます。

理事長・上野院 院長／医学博士／
HIV・梅毒・HPV感染症の診療を専門／
日本エイズ学会・日本性感染症学会 所属

塩尻 大輔



「あらゆるジェンダー・
セクシュアリティに平等な医療を」を
モットーに、お一人おひとりの声に
耳を傾けて診療を行っています。

ジェンダー外来 医長・横浜院 院長／日本専門医機構認定
産婦人科専門医／日本GI(性別不合)学会認定医／
WPATH(世界トランスジェンダー・ヘルス専門家協会)所属

池袋 真

ジェンダー外来

**プライバシーに配慮した空間で
相談できる専門窓口です。**

匿名で受診 | 保険証不要
夜まで診療 | パーソナルブース
オンライン診療 受診可能※

※遠方などで来院が難しい場合は、
個別相談でオンライン診療が可能です。

治療相談

治療の流れ・治療方針について、
ご相談いただけます。

※なお、当院は精神科がないため、
"性別不合・違和"の診断はしておりません。

ホルモン療法

トランス男性・トランス女性
いずれの方にも対応しています。
お一人おひとりの状態に合わせて、
治療方針を医師とご相談いただけます。

ホルモン療法に伴う 定期検査

定期的に血液検査を行っており、
みなさまがより健康でいられるように
サポートしています。

AGA

脱毛や薄毛のお悩みについて、
ご相談を承ります。

性感染症内科

**各種の検査・治療から
感染を防ぐ予防薬の
処方まで対応する専門外来です。**

匿名で受診 | 保険証不要
夜まで診療 | 即日検査・即日治療
オンライン診療 受診可能

性病予防薬

- PrEP療法(HIV予防)
- PEP療法(HIV緊急予防)
- DoxyPEP療法
  (梅毒・クラミジア・淋病の予防)

ワクチン

- HPV(9価)
  子宮頸がん・肛門がん・
  尖圭コンジローマ等の予防ワクチンです。
- A型肝炎・B型肝炎
  A型B型肝炎混合ワクチンもあります。

各種 性病検査・治療

来院したその日に、検査と治療ができます。
お薬は院内処方で、薬局に行く必要はありません。

ED薬・早漏薬・AGA薬・ピル、
緊急避妊薬も取り扱っております。
おりもの検査も承ります。

Personal Health Clinic
パーソナルヘルスクリニック

詳しい診療
内容はこちら ▶

上野院　03-5817-4415



ご予約・
お問い合わせは
こちら

LINE

横浜院　045-577-4300



LINE